

令和6年度の森林環境譲与税の用途について

大月町産業振興課

1 森林環境譲与税の活用の効果

- (1) 森林林況調査の実施
 ・会計年度任用職員1名を雇用し、森林経営意向調査の結果をもとに林況調査を実施した。森林状況を把握・確認することで、集積計画や森林経営計画による森林施業など、適正な森林管理へと繋げていく。また、施業履歴等を森林環境譲与税を活用し導入した独自システムへ蓄積し、見える化するにより今後の森林経営管理制度事業の円滑な実施を図る。
- (2) ウバメガシモデル林の造成
 ・大月町有林へウバメガシのモデル林を造成した。ウバメガシは町木にも指定され、備長炭の原木となり町内へ広く自生しているが、生育地の多くは海岸近くで、崖など地形の制限や国立公園など法規制があり伐採が可能な箇所は限られている。また県東部との競合により原木の枯渇が懸念されており、原木供給体制が急務となっている。永続的にウバメガシの安定供給を行うための資源の確保拡大、ウバメガシ再造林の施業技術の確立を図る。

2 森林環境譲与税の用途の内容

(1) 歳入 単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	17,074
計	17,074

(2) 歳出（使途内訳） 単位：千円

事業名	事業費		事業内容	事業実績	
	総額	財源内訳			
		R6森林環境譲与税	他の財源		
森林経営管理制度事業	7,740	7,016	724	R1.2年度に導入した森林情報システムを活用し実施した経営管理意向調査の結果をもとに、森林林況調査を実施	春遠地区：112名217筆333.8ha
ウバメガシ再造林事業	1,641	1,641	0	備長炭の原木となるウバメガシの施業技術の確立を目的としたウバメガシモデル林の造成及び管理	トギ山 下刈作業（0.2ha） トギ山 伐採作業（0.21ha） ネット取付作業（281.7m）
幡多地域森づくり推進センター負担金	626	626	0	森林経営管理制度における業務の効率化や負担軽減を図るため、市町村業務の共同処理を行える幡多広域組織を新設	
林業研修支援事業	400	200	200	地域の森林施業を担う林業事業者等への就業の促進と林業に新たに従事する担い手の育成及び確保を図るため、研修生及び研修受入林業事業者に対し、必要経費を支援	林業研修生1名を受入
自伐型林業支援事業	90	90	0	小面積でも山仕事を続ける中小規模森林所有者の育成及び確保を図るため、林業に関する学習会の実施、視察等の取り組みを支援	作業道実地研修の実施
特用林産業新規就業者支援事業	600	150	450	特用林産業の新規就業者の確保および育成を図るため、備長炭の生産技術を習得するための研修費用を支援	特用林産業研修生1名を受入
森林資源循環利用促進事業	682	682	0	人工造林、鳥獣害防止施設等整備、下刈りなど、再造林による森林・林業経営に資する経費を支援	人工造林（再造林） 食獣害防止ネット設置
木育玩具購入事業	185	185	0	木育玩具の購入費用を支援	木育事業の一環として、一歳児に対し、高知県産木材を使用した木製の玩具等を配布。
基金積立（森林環境整備基金）	6,484	6,484		次年度以降の森林経営管理制度関連事業に必要な財源として基金への積み立て	
計	18,448	17,074	1,374		